

オシンメイサマとおひなさまの由来ゆらい

あるところで、美しい娘が、ある立派なお屋敷に、お腰入れ（結婚）をしました。

ところが、今でいう子宮ガンでもあったのでしょうか。出血がひどくて困っております。でも誰にも言えずに、また誰にも知らせないでおりました。

お腰入れして間もなくこの出血のことが、たまたま家の人に知られてしまいました。むかしは、血は不浄ふじょうのもの、不吉なものとして嫌われておりましたから、しゅうとめ 姑たちに

「こんなけがれた体の女は、わたしの屋敷におくわけにはいきません。きょう限り、ひまをやります。」

と、新婚間もない若い二人の間を、生木をさくようにさかれて、お屋敷を追い出されて、小さな小舟に乗せられ、海に流されてしまいました。

それから数日後、ある浜辺に一そこの小舟が流れ着きました。浜辺の人々は、何だろう